

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動活動論Ⅲ（健康課題別） 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田 碧・熊澤由美子・下園美保子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

難治性の疾患や障害を抱えた対象者に対する保健活動と地域共生社会について理解する。疾患や障害の特性と困難を理解し、それに応じた支援について領域横断的な考察と連携をする保健活動を学び、地域共生社会について考える。

また、感染症発生時の公衆衛生看護活動の一連を学び、人々の健康を護る活動を知る。いずれも当事者への支援姿勢の習得を重要視している。

【到達目標】

1. 障害や難病による生きづらさと共に生きる人々が経験しがちな困難について具体的に説明できる。
2. 地域共生社会の理念と実現のための主要な制度整備について説明できる。
3. 各疾患・障害の特性を踏まえ、個人を尊重した支援の在り方について意見を述べるができる。
4. 障害者総合支援法をはじめとした支援制度と社会資源の活用について資料を示しながら説明できる。
5. 障害保健福祉の観点での地域の支援体制の構築について意見を述べるができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 地域共生社会の実現とそのため理念主要な制度の変遷とこれまでの動向
- 第2回 社会とのつながり・こころの健康、誰一人取り残さない地域共生社会
- 第3回 精神保健福祉活動 統合失調症・うつ病・自死対策
- 第4回 精神保健福祉活動 社会病理を背景とする健康課題と支援
- 第5回 難病対策 難病保健医療福祉の動向・活動の根拠となる法律・制度
- 第6回 難病対策 難病療養者の生活と健康課題
- 第7回 障害者総合支援法と地域の支援体制の構築難病療養者の生活と健康課題
- 第8回 災害時のメンタルヘルス対策
- 第9回 感染症対策の歴史と現行の制度、今後の動向
- 第10回 健康危機管理対応：感染症～アウトブレイク対応を中心に
- 第11回 結核発生時の対応Ⅰ 平常時の活動と患者発生時の対応
- 第12回 結核発生時の対応Ⅱ 結核そのほか呼吸器感染症の積極的疫学調査
- 第13回 結核発生時の対応Ⅲ 結核のまん延防止と治療の支援
- 第14回 主要な感染症対策 麻疹・風疹・肝炎
- 第15回 地域歯科保健対策

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する

【主な関連する科目】

精神保健福祉・難病保健福祉・社会保障・感染症看護に関連する科目および公衆衛生看護学のすべての科目・実習

【教科書等】

岡本玲子ほか：公衆衛生看護学テキスト第3巻 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版 医歯薬出版株式会社 2022
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2023/2024年」2023年

【参考文献】

小川一枝・小倉郎子：難病の保健師研修テキスト，東京都医学総合研究所,2017
厚生労働省：感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引き（改訂第6版），2022

【成績評価方法】

受講態度等（5%）、提出課題（25%）、定期試験の成績（70%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

保健所・市町村での行政保健活動、NPO・自助グループなどでの当事者織と共に歩む健康支援などの経験を元に、困難と共に生きる人の強さを感じ、葛藤している事象をともに考える授業・演習を目指します。

【学生へのメッセージ】

これまでの科目、実習を踏まえて授業に臨みましょう。困難とともに生きる人が、地域で希望を持ちながら、そしてその人なりの役割を果たしながら生きていく姿に学び、何があればそれを実現できるか、真剣に考えてください。医療機関の外側にある困難と豊かな支援に思いを手向けるための知識と考察力を広げていきましょう。この方々が生きやすい社会は、全ての人にとって生きやすい社会となるはずですよ。